

やまびこ

378

8月13日は怪談の日



8月になり、夏本番という気温と湿度が続きます。せいろの中にいるような蒸し暑い日が来たかと思えば、肌を刺し貫くような強い日差し。身も心も溶けてどこかへ行ってしまいそうですが、涼しい気持ちになれる怪談がぴったりの季節になりました。

怪談は怖さや怪しさを感じさせる物語の総称です。幽霊や妖怪、物の怪などがあらわれ怖い思いをさせたり、死に誘ったり、復讐をしたりするのが十八番となっています。

古典作品で有名なのは上田秋成の『雨月物語』でしょうか。この作品は『今昔物語集』といった日本の古典や中国の小説をもとにしたといわれており、9篇の話から成り立つ江戸時代の読本作品です。収録されている作品には、都に出稼ぎに行った男が7年後に幽霊となった妻と再会する「浅茅が宿」や、夫に尽くしていた妻が裏切られ、怨霊となって夫を祟り殺す「吉備津の釜」などがあります。

怪談に限らずとも、幽霊や物の怪は古典文学の中に数多く登場します。例えば平安時代に紫式部が著した『源氏物語』では、六条御息所が物の怪となって葵の上に取りつくといった場面が描写されています。

明治時代には小泉八雲が『怪談』を著し、「耳なし芳一」や「雪女」など日本に古くから伝わる口承の説話を記録・翻訳し、世に広めました。いつの時代も、人々は幽霊や物の怪といった姿かたちがはっきりしない恐ろしいものを身近に感じていたのかもしれません。

今回紹介した作品以外にも幽霊や妖怪が出てくる怪談作品は図書館に蔵書がたくさんありますので、ぜひご利用ください。館内を怪談ではなく冷房で涼しくして、来館をお待ちしています。

図書館にある「怪談」関連本

- 『雨月物語』 上田 秋成／原著(2017)
- 『源氏物語解剖図鑑』佐藤 晃子(2021)
- 『幽霊終着駅(ターミナル)』
赤川 次郎(2020)
- 『江戸怪談文芸名作選 第1巻』
木越 治(2016)
- 『妖怪学入門』阿部 主計(2025)
- 『小泉八雲の世界—美しい怪談』
小泉 八雲／作、亡霊／訳(2025)

- 『百鬼大乱』 真保 裕一(2023)
- 『昭和怪談』 嶺里 俊介(2023)
- 『ラフカディオ・ハーンの耳、語る女たち』
西 成彦(2024)
- 『日本妖怪考』
マイケル・ディラン・フォスター／著
廣田 龍平／訳(2017)
- 『ときめく妖怪図鑑』
門賀 美央子／文(2016)
- 『怪談刑事』 坂本 宗之祐(2024)

- 『大江戸怪奇面帖』尾崎 久弥(2001)
- 『播磨国妖綺譚』上田 早夕里(2021)
- 『妖の絆』 誉田 哲也(2022)
- 『東の妖怪・西のモンスター』
徳田 和夫(2018)
- 『妖怪と怨霊が動かした日本の歴史』
田中 聡(2024)
- 『妖怪アパートの幽雅な日常 1』
香月 日輪(2003)
- 『今昔百鬼夜行 1』山科 理絵(2019)

令和8年8月1日
鶴岡市立図書館
鶴岡市郷土資料館
〒997-0036
鶴岡市家中新町 14-7
TEL (図)25-2525
(郷)25-5014
FAX 25-2526



リードン ヨンデール
©Tsuchida Yoshiharu

やまびこ号の次回巡回日は

月

日です

新着図書は右記以外にもありますので、お気軽にお声がけください。新刊は、ホームページでもご覧いただけます。



8月の新着案内



◎小説・エッセイ

- あの日のつづきを生きている (朝倉 宏景)
- 飛燕 (あさの あつこ)
- 少女は殺人の夢を見る (阿津川 辰海)
- 交渉人・遠野麻衣子 (五十嵐 貴久)
- ショートショート未来図 (田丸 雅智)
- 丹心／まごころ (仁科 敏)
- 夜の喜劇 (東川 篤哉)
- シャドーゲーム (真山 仁)
- 夜の恩寵 (三浦 しをん)
- 夏帆 (村上 春樹)
- 婚活食堂 15 (山口 恵以子)
- 伝説探偵 (渡辺 大輔)
- 作家と住まい (平凡社編集部)
- ドラゴン・メトロ (馬 伯庸)

◎実用書

- スマホを見てただけなのに！ (鈴木 雄也)
- はじめて学ぶ人のための臨床心理学 (浜内 彩乃)
- マンガでわかる遺跡発掘お仕事図鑑 (今井 しょうこ)
- 13歳から考える台湾有事 (松竹 伸幸)
- 図解でスッと頭に入る世界の監獄 (石塚 伸一)
- 社喰い (片田江 康男)
- 60分でわかる！コンプライアンス超入門 (福田 恵太)
- 気象予報士が教える天気×業績予想・開示の実務 (夏目 宏之)

予約開始は 8月14日(金) です

- 元祖女性アナウンズ部長自分らしく老いる 覚悟。 (石川 牧子)
- 子どもの不登校が心配になったら知りたいことが全部のってる本 (小林 正幸)
- へんな学部 (西岡 弒誠)
- わたしの骨はどこへいく？ (安田 依央)
- 図説妖怪・幻獣づくし(兵庫県立歴史博物館)
- かこさとしの科学絵本 (かこ さとし)
- 野生動物の痕跡図鑑 (奥山 英治)
- ペンギンの世界 (上田 一生)
- せかいのスズメ (小宮 輝之)
- 人体のはたらきを化学式にしてみたら とてつもなくわかりやすかった (山口 悟)
- バラしてみよう！家電の中身を大分解！！ (I O編集部)
- 大使館シェフのおいしいレシピ (BS日テレ「大使館シェフのおいしいレシピ」)
- 痛快！サボテン教室 (堀部 貴紀)
- 日本の野鳥お絵描き図鑑 (秋草 愛)
- のばす・とばす・うごく！輪ゴムあそびと工作 (I O編集部)
- もうひとつ、いいですか？ (三谷 幸喜)
- サッカー日本代表アタッカー動作解析図鑑 (三浦 哲哉)
- 50歳からののんびり山歩き入門(モンベル)
- プロが教える親子釣り読本 (山口 充)
- 人生が変わるインタビューの技術(原 正紀)
- ぼけていく私 (佐藤 愛子、響子、桃子)

◎児童書

- ナイチンゲールの風が吹く (田中 ひかる)
- 法律のしごとはおもしろい！ (石田 京子)
- 池上彰のはじめてのお金の教科書 (池上 彰)
- 隕石のひみつ (阿部 新助)
- 空港のひみつ (「空港のひみつ」編集室)
- なつのおばけずかん (斉藤 洋)
- 都会のトム&ソーヤ 22(はやみね かおる)
- ぼくのホームズは推理ができない (緑川 聖司)

◎絵本

- ちょびミッケ！ 1 (ウォルター・ウィック)
- わらうことばあそぶことば (内田 麟太郎)
- しばわんこのたなばたまつり (川浦 良枝)
- にぎっちゃだめ！ (チョー ヒカル)
- ぞうくんのはじめてのえんそく (ながしま ひろみ)

=8月の記念日=

バイオリンの日 (8月28日)

1880年8月28日、東京深川の三味線職人・松永定次郎が国産バイオリンの第1号を完成させたことにちなみ、制定された。

図書館にある「バイオリン関連の本」

- ・『アヴェ・マリアのヴァイオリン』 香川 宣子 (2013)
- ・『楽器の科学』フランソワ・デュボワ (2022)